

埼玉縣信用金庫 × 浦和レッズ パートナーシップ 30周年 さいたま市内の小学校に NoteBook を寄贈

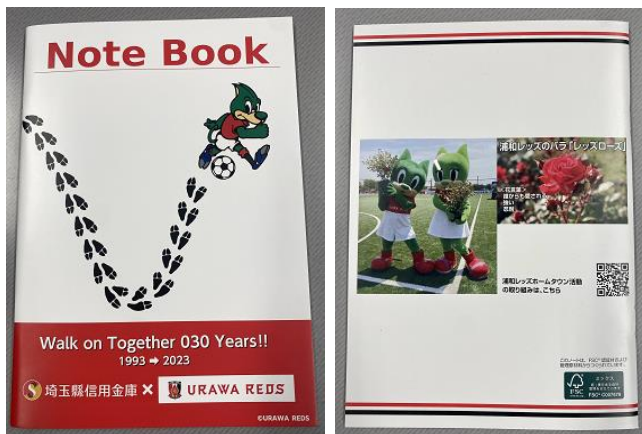
埼玉縣信用金庫（本店：熊谷市 理事長：池田 啓一）と浦和レッドダイヤモンド株式会社（本社：さいたま市緑区 代表取締役：田口 誠 以下「浦和レッズ」）とのオフィシャルパートナーシップが、本年Jリーグ開幕30周年とともに30年を迎えました。

オフィシャルパートナーシップ30年目記念である『浦和レッズを応援し続けて30年』をもとにつくられた「埼玉縣信用金庫 × 浦和レッズ パートナーシップ 030周年 NoteBook（以下、NoteBook）」を10月30日のさいたま市立大東小学校や11月1日のさいたま市立土合小学校を始めとするさいたま市内の小学校に寄贈いたしました。

この取り組みは、浦和レッズのホームタウン活動「レッズローズ植栽プロジェクト※」に賛同するとともに小学校の自然観察教育を支援するため、「飼育、栽培委員」の子どもたちへプレゼントしたものです。



NoteBook を寄贈した「さいたま市立大東小学校」の生徒たち



埼玉縣信用金庫 × 浦和レッズ パートナーシップ 030周年 NoteBook
©URAWA REDS

NoteBook は、『Walk on Together 030 Years!! 1993～2023』をキーワードに表紙を浦和レッズマスコット《レディア》の30歩（足跡）から埼玉縣信用金庫とともに歩んだ30年を思い起こすイメージとして、裏表紙を浦和レッズマスコット《シャーレくん、ディアラちゃん》の持つ「レッズローズ」を子どもたちへプレゼントするイメージでデザインしています。

浦和レッズは秋冬に予定しているさいたま市立仲町小学校を始めとするさいたま市内の小学校等、約10ヶ所へのレッズローズ植栽を実施中であり、埼玉縣信用金庫は今後も本取組みを含む約10ヶ所の「飼育、栽培委員」の子どもたちに、計300冊のNoteBookを寄贈いたします。

当金庫は引き続き、地域の活性化に取組みながら埼玉県の発展に貢献してまいります。

※浦和レッズ「レッズローズ植栽プロジェクト」

『笑顔あふれる幸せな街（ホームタウン）づくりに貢献していきたい』との思いから、2012年に埼玉スタジアム公園緑化事業としてスタートしたこのプロジェクトは、2013年に県・さいたま市の公園緑地協会との協働により、さいたま市から県全域の公園や公共施設へと植栽エリアを拡大。2017年からはさいたま市内の小・中学校や高等学校を中心とした学校関係へ植栽の輪が広がっていきました。

浦和レッズは『ホームタウンを世界初のサッカークラブの名が付いたバラ「レッズローズ」でいっぱいにして、幸せなまちづくりに貢献したい』と考えています。2023.2月現在 計63箇所(1,124株)を植栽

本件のお問合せ

埼玉縣信用金庫 地域創生部：加藤 総合企画部：増田
電話：048-526-1111 URL：<https://www.saishin.co.jp>